

ナイロビ市マザレ・スラムにおける民族間の対立抑止のための  
コミュニティ平和構築事業

事業内容に関する写真



1. マザレスラム内での事業開始セレモニーの風景。定員 30 名の会場は、事業関係者・地域住民らで超満員となった。横上右から、Ngeil 代表ジュマ、JCCP ケニア代表事務所石井代表 (PM)、ケニア大使館二等書記官秋山氏、JCCP ケニア代表事務所佐藤調整員。(2012 年 5 月)



2. カウンセリング設備が整った Child Therapy Room 内で談笑するカウンセラージュディと JCCP 現地職員アリス (2012 年 7 月)



3. スラム内における異なる民族同士による清掃活動の様子。(2012 年 6 月)



4. 啓発活動の様様。地域住民が、パフォーマーの周辺に集まってきている。(2012 年 7 月)



5. 啓発宣伝車がスラム内を巡回し、パーナーやポスターとスピーカー



6. 啓発宣伝車と共に、安全を呼びかける若者リーダーと JCCP

ナイロビ市マザレ・スラムにおける民族間の対立抑止のための  
コミュニティ平和構築事業

放送で地域の安全を呼びかけて回った。(2012年7月)



現地職員 (左から2番目) (2012年7月)



7. 異なる民族で混成されたスラム・ミュージシャンによる劇パフォーマンス。参加者は笑いながらメッセージを受け取る。(2012年7月)



8. 異なる民族で混成されたスラム・ミュージシャンによるダンスパフォーマンス。(2012年7月)



9. 正義省主催による選挙を平和に実施するための国家会議 (National Conference on Peaceful Election) には、大統領・各大臣らが出席し、全国各地から招待された知事・長老ら 5000 名と選挙暴動を予防する取り組みが2日間にわたり議論された。(2012年7月)

10. 正義省主催による選挙を平和に実施するための国家会議 (National Conference on Peaceful Election) に招待された JCCP。会議では、「治安維持と平和には市民社会との連結がかかせない」と大統領から繰り返し伝えられた。右から2番目 JCCP ケニア代表事務所・佐藤調整員。(2012年7月)